

WAMは福祉と医療の民間活動を応援します

令和元年9月25日
独立行政法人福祉医療機構
経営サポートセンター長 岐部 宏幸
経営サポートセンター リサーチグループ
グループリーダー 吉崎 奈美
担当 松原 (電話) 03-3438-9932
(FAX) 03-3438-0371

2018年度(平成30年度)決算 特別養護老人ホーム(従来型・ユニット型) の経営分析参考指標【速報値】の公表について

独立行政法人福祉医療機構では、福祉医療貸付事業の債権管理の一環として、毎年度、融資先からご提出いただく財務諸表等を基に、社会福祉法人や医療法人、福祉・医療施設等の経営状況について経営分析参考指標として集計・分析しています。

このたびは、2018年度の特別養護老人ホーム(従来型・ユニット型)の経営状況(速報値)について、公表いたします。

〈経営分析参考指標〉 <https://www.wam.go.jp/hp/guide-keiei-keieiqa-tabid-1976/>

1. 調査の概要(速報値)

■調査時点	毎年1回(決算データ)
■集計施設	特別養護老人ホーム 従来型(1,228拠点)、ユニット型(2,195拠点) ※併設短期入所を含む分析
■調査目的	機構融資先の債権管理の一環

※速報値としての公表のため、精査の結果、サンプル数の変更及び数値の修正の可能性があります。

※経営分析参考指標(2018年度決算分)(有料)の販売については、12月以降順次発送する予定としております。現在予約申込受付中です。

2. 2018年度決算(速報値)の概要

- サービス活動収益対サービス活動増減差額比率は従来型で2.9%(前年度+0.2ポイント)、ユニット型で5.5%(前年度±0.0ポイント)と前年度比ほぼ横ばいであった。利用者1人1日当たりサービス活動収益は従来型11,839円(前年度+122円)、ユニット型13,920円(前年度+95円)と前年度より上昇しており、2018年度報酬改定による基本報酬の引き上げによる収益額の増が確認できる。また、人件費率については、従来型で65.2%、ユニット型で62.1%と前年度比ほぼ横ばいであった。基本報酬の引き上げによる増収に対し、人件費も増加していると思われる。
- なお、利用率については前年度とほぼ同水準で推移しており、従来型では特養入所94.6%(前年度±0.0ポイント)、ユニット型では特養入所94.1%(前年度△0.3ポイント)であった。特養待機登録者数についても従来型で157.9人(前年度+1.1人)、ユニット型で90.9人(前年度比+0.9人)とほぼ横ばいとなっている。